

世界サイの日イベントを通じた教育活動

○滝川蘭丸

(横浜市立金沢動物園)

世界サイの日(9月22日)は、2010年に世界自然保護基金(WWF)が世界に現存している5種類のサイがどれも絶滅の危機に瀕していることを訴えかけるために提唱したものである。金沢動物園ではヒガシクロサイとインドサイを飼育しており、2013年から飼育担当者によるガイドや外部団体と協力したイベントを世界サイの日に合わせて実施してきた。2023年9月23日(土)、24日(日)の2日間で実施した世界サイの日のイベントの内容と教育活動について紹介する。

イベントでは飼育担当者によるガイド、外部団体による物販、ワークショップ、ガイド等を実施した。また、イベントを通じた振り返りとしてアンケートを実施した。

外部団体による物販の売り上げの全額をサイの保全活動を行っているNPO法人に寄付し、商品を購入した来園者が直接サイの保全活動に関われるようにした。アンケートでは「サイの数が減っていることを知っているか」、「日本で飼育しているサイの数を知っているか」、「野生下のサイの数を知っているか」、「イベントを通して今後サイのためになにをするか」の4つを調査した。アンケートの結果ではサイの数が減っていることを知っている来園者は半数以上だった。また、現在のサイの個体数を尋ねた際にも設定した個体数の少ない選択肢に票が多く集まった。イベント全体でサイの数が減っていることを来園者に伝えた結果だと考えている。

また、来園者が実際に保全活動に関われる機会を提供することができ、イベント全体を通して教育活動として一定の成果を挙げられた。